

## 東日本大震災8周年シンポジウム『東日本大震災の教訓の共有と継承を考える』を開催しました (2019/3/10)

テーマ：東日本大震災8周年，災害科学国際研究所  
場所：仙台国際センター（宮城県仙台市青葉区）

2019年3月10日（日）東日本大震災8周年シンポジウム『東日本大震災の教訓の共有と継承を考える』（主催：東北大学災害科学国際研究所）を「仙台防災未来フォーラム2019」の連携イベントとして開催し，企業，自治体，大学／研究機関の関係者の他，一般参加者など延べ280名ほどの参加を頂きました。シンポジウムは今村文彦所長からの挨拶に続き，二部構成で行われました。

第1部では，災害が多かった2018年を振り返り「災害研緊急調査ワーキンググループ」から調査報告が行われ，東日本大震災から得られた教訓が活かされたか，活かされなかったとすれば今後どのように対応すべきかが議論されました。

第2部のパネルディスカッション「東日本大震災から8年，インド洋津波から14年ー被災地・アチエの復興から東北の現在を考えるー」では，中鉢奈津子特任助教（広報室）の趣旨説明に続き，主として災害からの復興におけるコミュニティの問題について，海外の状況との比較を行いながらディスカッションが行われました。会場からも活発な質問があり，予定の時間を超過するほど大変盛会となりました。当日のプログラムの詳細は以下の通りです。

開会挨拶：今村文彦 所長

第1部：緊急調査報告

- ・司会：遠田晋次 教授（災害理学研究部門）
- ・趣旨説明：森口周二 准教授（緊急調査ワーキンググループ長，地域・都市再生研究部門）
- ・大阪北部地震：蝦名裕一 准教授（人間・社会対応研究部門 災害文化研究分野）
- ・2018年の風水害：越村俊一 教授（災害リスク研究部門 広域被害把握研究分野）  
橋本雅和 助教（災害リスク研究部門 環境変動リスク研究分野）
- ・北海道胆振東部地震：五十子幸樹 教授（災害リスク研究部門 最適減災技術研究分野）
- ・インドネシア・パル地震：今村文彦 教授（災害リスク研究部門 津波工学研究分野）

第2部：「東日本大震災から8年，インド洋津波から14年ー被災地・アチエの復興から東北の現在を考えるー」

- ・司会：五十子幸樹 教授（災害リスク研究部門）
- ・パネルディスカッション  
西芳実 准教授（京都大学 東南アジア地域研究研究所）  
本江正茂 准教授（東北大学大学院 工学研究科、情報管理・社会連携部門(兼務)）  
マリ・エリザベス 准教授（情報管理・社会連携部門）  
特別ゲスト：笠原豊 氏（東北放送 報道部・ディレクター）  
モデレーター：中鉢奈津子 特任助教（広報室）

閉会挨拶 伊藤潔 副研究所長

文責：五十子幸樹（災害リスク研究部門），遠田晋次（災害理学研究部門），  
中鉢奈津子（広報室）

写真：鈴木通江（広報室）

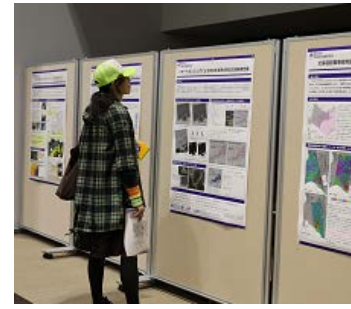
（次頁へつづく）



今村文彦所長



会場の様子



展示コーナー



展示コーナー



遠田晋次教授



森口周二准教授



蝦名裕一准教授



越村俊一教授



橋本雅和助教



五十子幸樹教授



中鉢奈津子助教



笠原豊氏



西芳実准教授



本江正茂准教授



マリ・エリザベス准教授